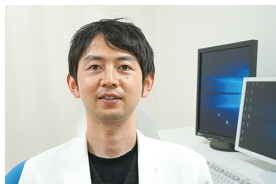


前立腺がんについて

今回は日本泌尿器学会専門医角田 俊雄 医師に
「前立腺がん」について伺いました。



▲角田俊雄 医師

今治の皆様はじめまして。令和6年1月より愛媛大学医学部附属病院から当院に転勤して参りました角田俊雄と申します。

現在、日本人男性で一番多いがんは何かご存知でしょうか。胃がんや肺がんではなく、実は「前立腺がん」なのです。前

立腺は男性にのみある臓器で、精液をつくる役割を担っています。PSA（前立腺特異抗原）という腫瘍マーカーを血液検査で調べることで、前立腺がんの可能性を調べることができます。PSAが基準値より高い方で前立腺がんが疑われた場合、必要に応じて針生検により組織を顕微鏡で調べて、前立腺がんかどうかを確認します。病変が前立腺に留まっている方は手術で摘出するか放射線治療を選択できます。現在はロボット支援手術による小さい傷での手術が可能となつてお

り、当院でも今年の3月末から国産ロボットのhinotoriを導入し、安全に手術を行つています。また前立腺がんの場合、放射線治療も手術と同等の治療効果を持つとされており、放射線治療医と連携しながら治療を行つています。手術と放射線治療にはそれぞれメリットや副作用がありますので、一人一人の状況やご希望に合わせ、十分に相談した上で治療方法を選択していただきます。病気が前立腺を超えて他の臓器に拡がっている場合は、ホルモン療法と呼ばれる男性

ホルモンを抑える薬物療法が中心となります。PSAを測られたことが無い方は、一度検診等で測られてみることをお勧めします。もし仮に異常値がでて、焦る必要はありません。まずは泌尿科にお気軽に相談ください。

社会福祉法人



恩賜
財団

済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>

0898-47-2500

